



赤い羽根
福祉基金

× 盛和塾

赤い羽根福祉基金「盛和塾 新型コロナウイルス対策緊急助成」第1回 ～申請いただいた学生の皆さんの声～

専門学校2年生・女性

2年次からアルバイトを始める予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で採用してもらえません。

また、学校の方針でオンライン授業が行われることが決まり、ネット環境を整えるために支出は増えています。いつ収まるか分からない中、これまで以上に節約しながら生活して、支出によるダメージを少しでも軽くできるようにしています。

今後の見通しは明確ではありませんが、今できることを全力でやり遂げ、助成金を活用して新型コロナウイルス感染症を乗り切って、看護師として活躍できるように勉強と生活を両立させていこうと思っています。

大学1年生・男性

今年度から大学生として、新しい生活が始まりましたが、新型コロナウイルスの影響で、授業もオンラインで行われ、部活動に関しても、未だいつ開始されるか分かりません。本来であれば、アルバイトをしながら学生生活を送る予定でしたが、市内における感染状況をみても、アルバイトをするどころか、探すことさえも困難な状況です。

両親もおらず、頼りになる身寄りもない自分にとっては、先行きの不安から精神的にも辛い毎日を送っています。

この感染症が収まれば、学業や部活動に支障がないようにアルバイトをしながら、助成金を使いながら自立生活の費用に充てていきたいと考えています。

短期大学2年生・女性

児童養護施設退所後は、親から金銭的な支援を受けておらず、給付型奨学金とアルバイトの収入で学費と生活費を補っていました。しかし、新型コロナウイルス感染症が流行して、アルバイト先が不景気によって廃業となるため、6月以降の生活費をまかなうことができません。

現在の予防対策が終了した後、次のアルバイトが見つかるまで、少しでも経済的な負担を減らしたいと思い、助成金を必要としています。

